

RIA-Program を用いた計算処理・操作について

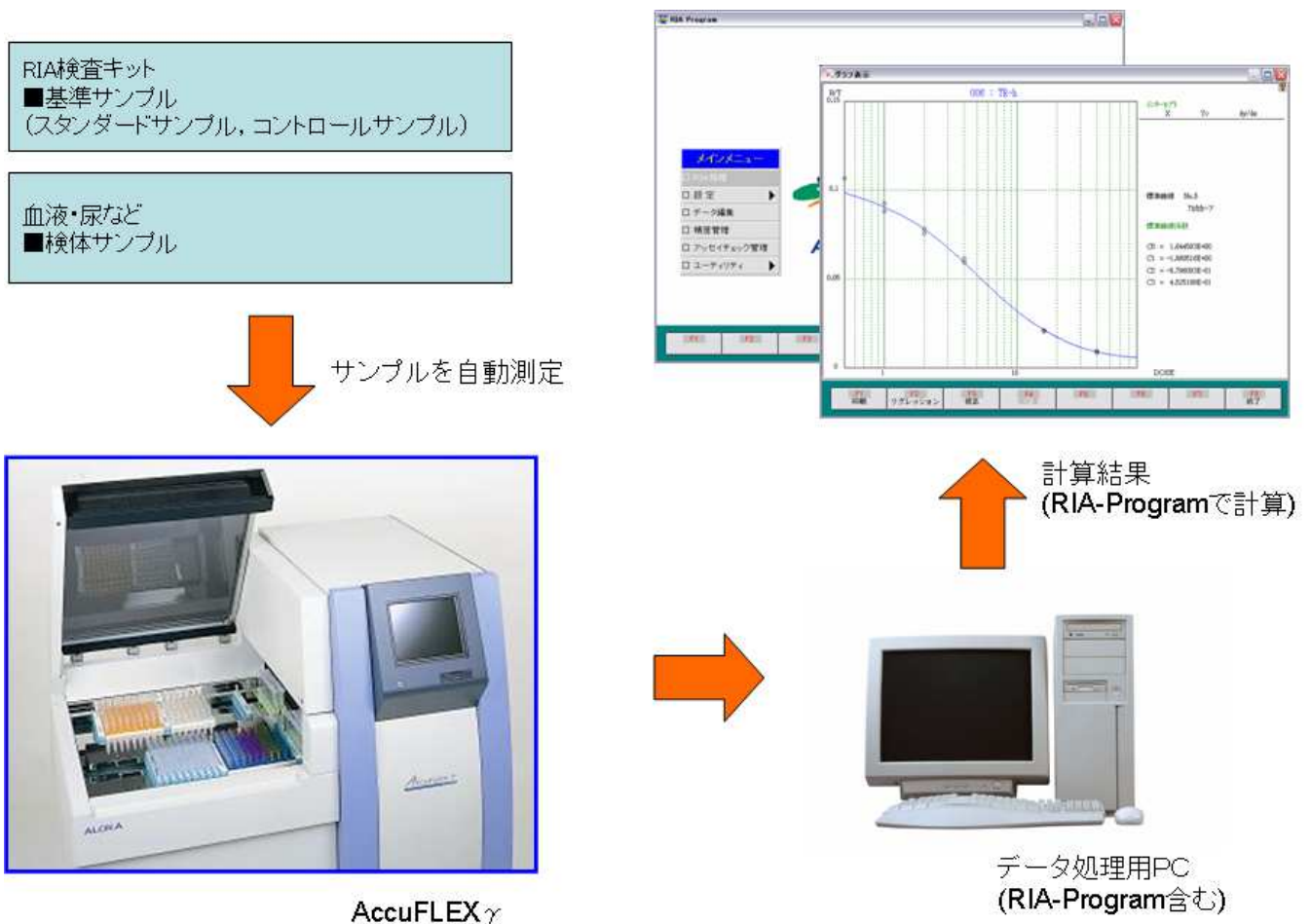
1. はじめに

AccuFLEX γ (ARC-7000 シリーズ)では、ホルモン量測定や蛋白量測定で用いられるRIA(Radio Immuno Assay)などのインビトロ検査のデータ処理を行うためのPC用ソフトウェア(RIA-Program)を用意しています。

市販されているRIA 検査キットの基準サンプルや、血液や尿から得られた検体サンプルを AccuFLEX γ で測定することで、その測定データはデータ処理用PCへ送られ、RIA 検査キットに合わせた計算処理が行われます。

あらかじめ計算処理のプロトコルを登録しておくことで、測定されたサンプルのデータは、そのままデータ処理用PCで計算処理されますので、ユーザーは直ちに検査結果を知ることができます。

2. 『AccuFLEX γ 』+『RIA-Program』を用いた RIA 検査キットの計算処理フロー



3. RIA-Program 簡易操作マニュアル

1. RIA プログラムを起動します。

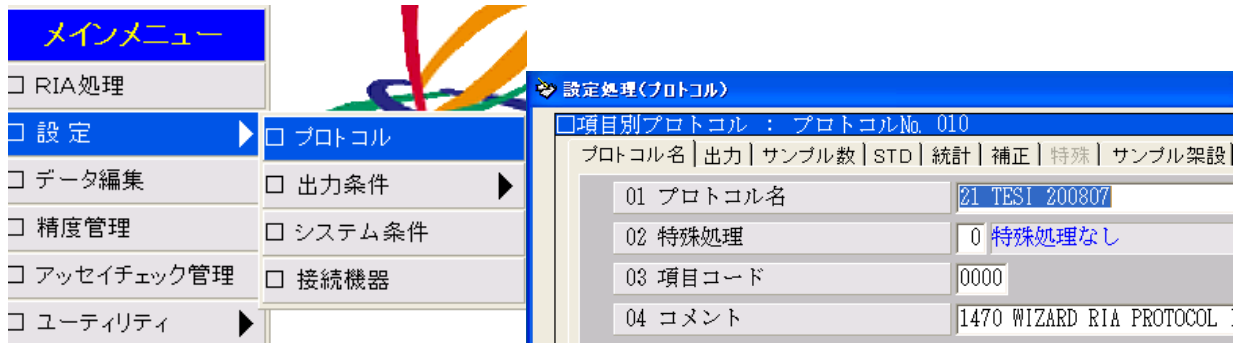


2. 接続機器より、使用するラックを選択します。

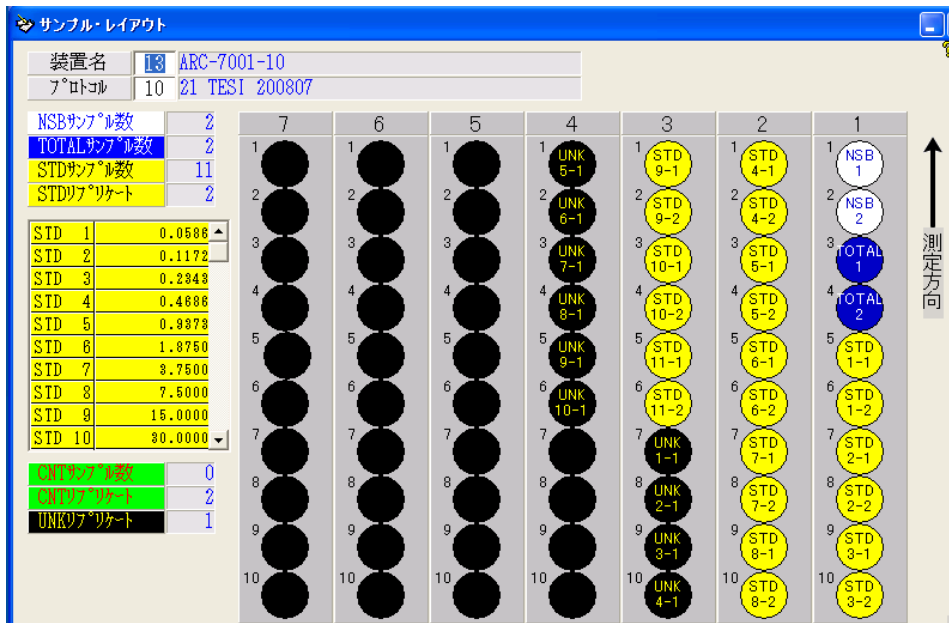
標準バイアルの場合 : 13 : ARC-7001-10 / ミニバイアルの場合 : 14: ARC-7001-15



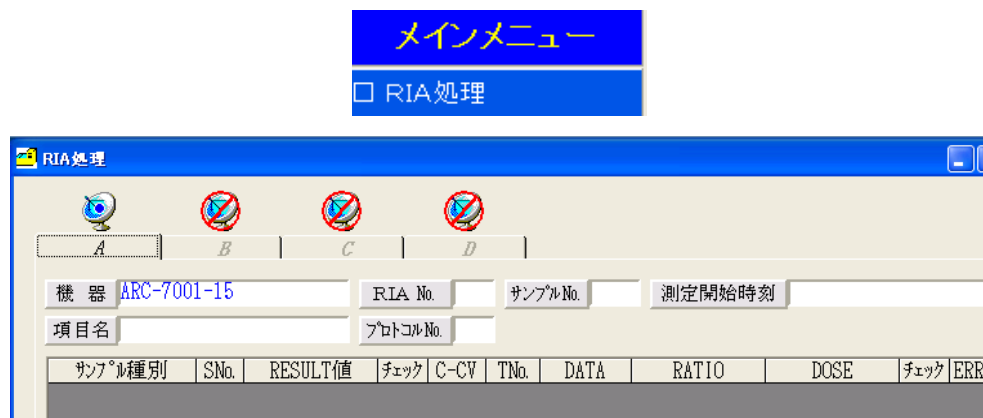
3. 使用するプロトコルを選択、サンプル架設の順番を確認します。(プロトコルは予め設定下さい)



F4 サンプルレイアウトより、機種を選択し、ラックにサンプル・(プロトコルと該当する)My.No を装置にセットして下さい。



4. メインメニューから、RIA 処理を選択します。(装置からの信号待ちの状態にします)



5. 装置本体の測定を開始させると、データ収集・RIA 処理を実行します。(プロトコルは予め設定下さい)



自動測定を選択



測定開始

6. データの処理が終了したら、RIA Program を終了します。

